

三重県知事・三重県議会議長のパラオ訪問（5月7日）の概要について

三重県とパラオ共和国が友好提携を締結し30周年（1996年7月25日締結）を迎えることから、さらなる関係強化をめざし、パラオ共和国を訪問しました。5月7日（木）は、友好提携30周年を記念した交流イベントを開催するとともに、ウィップス大統領を表敬訪問し合意書を締結しました。

【5月7日（木）】

1 三重県PR・交流イベント

(1) 場 所 パラオ高校（ティーチャートレーニングセンター）（コロール州）

(2) 出席者

(相手方) パラオ共和国 上院議員 アンドリュー・タベルアル

パラオ高校 校長 スマイス・ルダン

パラオ国際サンゴ礁センター 所長代理 キャリン・L・コシバ ほか

(同席者) 駐日パラオ共和国大使館 特命全権大使 ピーター・アデルバイ

在パラオ日本国大使館 特命全権大使 笠原 謙一 ほか

(三重県) 知事 一見 勝之

政策企画部長 楠田 泰司 ほか

(県議会) 議長 服部 富男

国際交流促進議員連盟 日本・パラオ部会 会長 廣 耕太郎、

西場 信行、野村 保夫

(伊勢市) 教育委員会事務局学校教育課長 井村 直樹

(鳥羽水族館) 取締役館長 若井 嘉人 ほか

(3) 概 要

① パラオ共和国の政府関係者や関係機関職員、パラオ高校の生徒、コロール小学校の児童等（パラオ側出席者 90 名）が出席し、三重県を紹介し交流を深めるイベントを開催しました。

② イベントでは、一見知事から三重県とパラオ共和国とのこれまでの「トクベツ」な交流の歩みや観光・人材交流など今後の新たな連携について、美しい海がっなぐ「トクベツ」な「キズナ」を一層深めていきたいと、プレゼンテーションを行いました。

※「トクベツ」「キズナ」は、日本語が元になったパラオ語で、日本語と意味も同じ

③ 長年にわたり三重県とパラオ共和国の友好親善の促進に寄与してきた、パラオ高校とパラオ国際サンゴ礁センターに対し、海外功労者表彰を実施しました。受賞した、パラオ高校スマイス・ルダン校長からは「言葉にならないくらい嬉しい気持ちだ」、パラオ国際サンゴ礁センター キャリン・L・コシバ所長代理からは「身に余る光栄です。今後も交流を継続したい」といった喜びの声がありました。

④ 鳥羽水族館の若井館長から、鳥羽水族館の取組紹介とともにパラオ国際サンゴ礁センターと連携した取組について、説明がありました。

⑤ コロール小学校と姉妹校提携を締結している伊勢市立みなと小学校およびパラオ高校と姉妹校提携を締結している県立水産高校からのビデオメッセージを披露し、両校の生徒から、今後の継続的な交流への期待が述べられました。

⑥ 会場には体験ブースと展示ブースを設置し、伊勢うどんの試食や伊賀のかたやき、ようかんなどの県産品のお菓子の提供、忍者衣装体験、手裏剣体験、ポスタ

一展示等を行いました。参加者からは、「伊勢うどんを初めて食べたが、パラオ人に好まれる味だと感じた」、「漫画では知っていたが、忍者の体験ができて楽しかった。三重県を訪問して、もっと忍者について知りたいと思った」といった声が寄せられるなど手裏剣体験ブースを中心に、盛況のうちに終了し、三重県への理解を深める機会となりました。



(知事によるプレゼンテーション)



(受賞者を囲んでの記念撮影)



(海外功労者表彰の様子 左：パラオ高校スマイス・ルダン校長
右：パラオ国際サンゴ礁センター キャリン・L・コシバ所長代理)



(伊勢うどんを味わうコロール小学校児童)



(忍者体験を楽しむパラオ高校生)

2 大統領表敬訪問

(1) 場 所 パラオ政府合同庁舎 (コロール州)

(2) 出席者

(相手方) パラオ共和国 大統領 スランゲル・S・ウィップス・J r

同 人的資源・文化・観光・開発大臣 ニライベラス・メトゥール

同 司法大臣 ジェニファー・オレグリール ほか

(同席者) 駐日パラオ共和国大使館 特命全権大使 ピーター・アデルバイ
在パラオ日本国大使館 特命全権大使 笠原 謙一 ほか

(三重県) 知事 一見 勝之
政策企画部長 楠田 泰司 ほか

(県議会) 議長 服部 富男
国際交流促進議員連盟 日本・パラオ部会 会長 廣 耕太郎、
西場 信行、野村 保夫

(伊勢市) 教育委員会事務局学校教育課長 井村 直樹

(鳥羽水族館) 取締役館長 若井 嘉人 ほか

(3) 概要

- ① パラオ共和国のウィップス大統領と面談し、30周年を迎えるパラオ共和国との友好提携に関連し、今後の交流・連携について意見交換を当初予定の30分を上回る1時間実施しました。
- ② ウィップス大統領からは、「パラオと日本を結ぶ直行便が昨年10月に就航し、移動距離が縮まったことで、パラオと三重県の交流は、今後一層深まると期待される。特に若い世代の人達の交流をはじめ、今後もお互いの交流が50年を越えて続いていくように関係性をさらに強めていきたい。」との発言がありました。
- ③ 一見知事からは、「5年前の友好提携25周年の際にはオンラインミーティングでウィップス大統領にお会いしたが、30周年の節目に直接お会いできて大変光栄。今回の訪問を通して、パラオと日本の「キズナ」を一層強化していきたいと考えている。是非、大統領も日本にお越しの際は、三重県にもお寄りいただきたい」と今後の関係強化に向けた思いを伝えました。
- ④ 表敬訪問の後、三重県とパラオ共和国は、相互の住民と文化を深く尊重しつつ、従来の交流・協力分野に加え、より広範かつ重層的な連携を一層推進するため、友好提携30周年を契機とした合意書を締結しました。



(ウィップス大統領との面談)



(合意書の締結)

3 友好提携30周年記念植樹

(1) 場 所 パラオ高校敷地内 (コロール州)

(2) 出席者

(相手方) パラオ共和国 人的資源・文化・観光・開発大臣 ニライベラス・メ
トゥール ほか

(同席者) 駐日パラオ共和国大使館 特命全権大使 ピーター・アデルバイ
在パラオ日本国大使館 特命全権大使 笠原 謙一 ほか

(三重県) 知事 一見 勝之
政策企画部長 楠田 泰司 ほか
(県議会) 議長 服部 富男
国際交流促進議員連盟 日本・パラオ部会 会長 廣 耕太郎、
西場 信行、野村 保夫
(伊勢市) 教育委員会事務局学校教育課長 井村 直樹
(鳥羽水族館) 取締役館長 若井 嘉人 ほか

(3) 概要

友好提携 30 周年を記念し、日本とパラオ共和国の「キズナ」を形として残し、将来にわたる友好関係促進の象徴とするため、県立水産高校と姉妹校締結をしているパラオ高校の敷地内で、今後の三重県とパラオ共和国の友好関係が大きな果実をつけるようお願いを込めて、果樹のワックスアップルの記念植樹を実施しました。



(記念撮影)



(記念植樹の様子)

4 パラオ国際サンゴ礁センター訪問

(1) 場所 パラオ国際サンゴ礁センター (コロール州)

(2) 出席者

(相手方) パラオ国際サンゴ礁センター 所長代理 キャリン・L・コシバ ほか
(鳥羽水族館) 取締役館長 若井 嘉人 ほか

(三重県) 知事 一見 勝之
政策企画部長 楠田 泰司 ほか

(県議会) 議長 服部 富男
国際交流促進議員連盟 日本・パラオ部会 会長 廣 耕太郎、
西場 信行、野村 保夫

(伊勢市) 教育委員会事務局学校教育課長 井村 直樹

(3) 概要

- ① パラオ国際サンゴ礁センターを訪問し、センターの展示を視察し、意見交換を行いました。また、友好提携 20 周年事業の三重県訪問団によるパラオ共和国訪問時に、鳥羽水族館とパラオ国際サンゴ礁センターが締結した友好協力協定の更新締結式を開催しました。
- ② パラオ国際サンゴ礁センター キャリン・L・コシバ所長代理からは、「これまでの共同で実施した調査や研究などの交流に感謝するとともに、引き続き関係を深めていきたい」との発言がありました。鳥羽水族館の若井館長からは、「日本国内で唯一飼育しているパラオオウムガイの調査・研究のみならず、鳥羽水族館での研修生の受け入れを行うなど、今回の友好協力協定の更新を機に、交流を新たなステージに引き上げたい」との発言がありました。

- ③ 更新締結式に立ち会った一見知事は、「両者の協力・交流が更に発展していくことに期待する」とさらに関係が深まっていくことへの期待を述べました。



(締結式後の記念撮影 1)



(締結式後の記念撮影 2)

5 友好提携 30 周年記念レセプション

(1) 場 所 パレイシアホテル (コロール州)

(2) 出席者

(相手方) パラオ共和国 人的資源・文化・観光・開発大臣 ニライベラス・メ
トゥール

駐日パラオ共和国大使館 特命全権大使 ピーター・アデルバイ ほか
(在パラオ日本国大使館) 特命全権大使 笠原 謙一 ほか

(三重県) 知事 一見 勝之

政策企画部長 楠田 泰司 ほか

(県議会) 議長 服部 富男

国際交流促進議員連盟 日本・パラオ部会 会長 廣 耕太郎、
西場 信行、野村 保夫

(伊勢市) 教育委員会事務局学校教育課長 井村 直樹

(鳥羽水族館) 取締役館長 若井 嘉人 ほか

(3) 概 要

友好提携締結 30 周年を記念し、在パラオ日本国大使館と共催でレセプションを開催しました。パラオ共和国の政府関係者や、在パラオ日本国大使館とともに、今後の三重県とパラオ共和国の継続的な関係発展に向けた意見交換を行いました。



(知事によるレセプションでの挨拶)